(一) 號九十九百第 (日曜土) 日八廿月八年二十四治明 刊休日翌の日祭及日曜日 (刊日) (可認物便郵種三第日十三月二十年一十四治明)

京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐべからず

●保證狀手數料問題(下)
（韓鐵當局者の反省を望む）

赤軒生

吾輩は斯の如き問題に對して法理を援用するは甚だ好まざる所なるも、餘りに執固なる鐵道當局者に對して貨物運送通知者の性質及び効力につき少しく研究を重ねられんことを望まざるを得ぬ、商法、民法を通讀すれば事理は甚だ明瞭である、荷物の引渡しに對し貨物引替證にあらざる運送通知書を絶体に必要とし、其呈示を爲さゝる者に對し保證狀を徴收するは鐵道の便宜法であつて一般法規の上には何等の據る所なきを語つて居る。又之を事實上の例に徴するも、一部運送店に對し判取簿の記名調印を以て荷物の引渡しを實行しつゝあるは明らかに保證狀徴收の無用を示して居る。序ながら質す所あらむに、韓鐵が承認運送店なるものを設け信認金を徴收し居るは抑も何の爲めに依るか。貨物の托送奬勵の爲めに幾分の運賃割戻をなすが爲めに然るや、或は荷物授受に對し相當信認を拂ふが爲めの擔保として然るか。前者の爲めとすれば荷物引渡に際して特に寬典を與ふる理由は判らぬのである、後者の爲めとすれば承認を望む者を何故に拒絶したるか。其取扱を二三にし曖昧にするは則ち社會を侮辱するものである、公衆を愚弄するものである、況んや法理を蔑視するが如き、餘りに亂暴も甚だしきにあらずや。

過般大屋長官は新官制の實施に當り訓示して「我が鐵道は帝國政府が韓國に於て經營する施設中の最大要項にして其政治上、經濟上及び社會上に各至大の任務を存じ獨り收入の計算のみを以て立つものにあらず」と言はれた。是ぞ實に韓鐵經營の第一要義として據るべき所であると吾輩は確信するのである、而かも其鐵道が貨物授受上の手續を繁雜にし、苛酷の誅求を爲すの跡あるは何故であらう。殆んど他に比類なき高き賃銀を收め、公衆をして忍ばしむるだけ忍ばしめたる以上は、之に伴ふ利便を講ずるこそ鐵道の義務である。吾輩は此見地より此論議を爲すものであるが、今は大体論を述べて置くに止まるも、更らに機を見て大に詳論するの機あるべしと思ふ。(完)

●咸鏡水害の狀報

咸興郡の被害は浸水耕地七千町歩内七百町歩は收穫の見込なし他六千三百町歩の内主作物米穀類は五分圃作物豆菽類は二分作なるべし土地の流亡又は流落二十面に渡り荒廢甚し堤防の決潰は城川江上流に十箇所あり其長きは三百間に達す倒潰流亡家屋二百余戸半潰又甚し罹災者には四日より八日に至る迄に郡衙より救恤米二十石を出し六七千を救ひ引續き救恤中交通は杜絶し舟楼を用ゐ居れり洪水後城川江は細流を剩すのみなりと云ふも上流本流の水は平野の中央に流域を作り一大河を形成し耕地復舊容易ならず又北靑郡にては橋梁落ち交通杜絶せり被害は流失家屋六十戸浸水千五百余崩壊家屋三十一戸橋流失五十三田の流失覆沙浸水するもの四百四十一結損害見積八萬四千圓、死者六傷二其他家畜の流失するもの多し

●統首と土地認證料

土地證明規則に由りて土地家屋の證明には統首の認證を要し其手數料として統首は一件に付五十錢を受くることゝなれるが從來國有地を誤魔化し又は所有權の曖昧なる等の場合には申請者は價格の一割又は二割を賂る如きこともありしより統首は却て之を尋常視し一般の惡風となれる傾きあるを以て證明規則を變更し統首の認證を廢止するに至らば地方費として徴する證明税は從來に比し容易く增收を見るを得べしといふ

中山大納言

第卅六席　桃川燕玉演

此時將軍始め大名一統、いや大變な事を越中殿が言ひ出したわいと、手に汗握つて御控なさる、越中殿は前へ進んで 越「アイヤ中山殿には速に御返答あらせられるやうに」とジリ〳〵と進んだ、時に中山大納言一仲仲上つて越中守をハッタと睨み 中「默れ越中、以ての外なる汝の一言、毛利上杉の兩家より貢を奉りし往昔は只今とは違ひ四海糸の如く亂れ、諸國に戰歇む時なく、親子兄弟國郡を爭ひ、夫婦寢食を共にせず朝に討死と覺悟致し、夕に命あれば不思議に思ひ身に鎧を着け白刃を振り、山谷を馳け廻り、木の根岩角を枕となし、恐れ多くも一天萬乘の御身の上すら身の置處に難み給ふ戰國にして、一國の貢だに奉る者なし主上宸襟安からず、日々龍顔に御涙の乾く間なし、然るに毛利上杉兩家より貢を奉り叡慮を慰め奉りしは誠忠比上なし、昔と今と較ぶれは、十万石は物の數ならず、當節は將軍家を始め大小名、共に耳に矢玉の音を聞かず、鎧武者は五月人形の外見し事はよもあるまじ、心に何の謀もなく、唯只先祖の勳功を鼻に掛け、數萬石の祿を領し身には綾羅錦繡を着し、口に山海の珍味を甘んじ、和漢南天の書物を知らず、碁將碁茶の湯、或は蹴鞠、琴三味線を樂み、美女數人を側らに置き、高位高官に登る、是皆莫大の朝恩ならずや、然るに汝叡慮の相違ならんと申せしは天子を輕ずるの一言、返答に依つては愛親聽捨て難し、越中確と返答を致せ」と一仲仲上つてハッタと睨んだ其勢ひ、四方に使して君名を辱めざる實に天下の大丈夫、將軍を始め諸大名アッと言つて驚いた、越中殿も大いに驚いて 越「是は誠に私過言の段恐入ます、最早今日は時間でございますから御歸館を願ふ」と言ふそこで御兩卿は傳法院に御引取に相成た。二度の登城、イヤどうも京都方の勇氣が盛でございまするから關東の諸役人實に其無きは一方でございませぬ、そこで老中若年寄相談の上林大學頭へ申付まして二十一史の書籍を整へまして、小笠原三左衛門御使として之を中山殿へ差上げる事になつた。と云ふのは大概の物を持つて行つても中山殿が受けない、愛親卿は殊の外學問を御好みなされ、書籍が御好きと云ふ事だから、早速二十一史を揃へました、と云ふのは史記、晉書、宋書、梁書、三國誌、陳書、魏書、隋書、前漢書、後漢書、南史、北史、南齊、北齊、唐書、五代史、宋史、遼史、金史、元史、是等を二十一史書數二千五百四十九巻ある、之を長持に入れまして將軍家より中山殿へ賜はると、今大路民部少輔から言上致す、中山殿殊の外御喜びになつたのは、是は素より御好みなさる所、別段の事でございまするから厚く御喜びになつて御受けなすつた。扨夕方に相成つて今大路民部を召され、右の書物を段々取調べると、書物の中から千兩と云ふ金が小判で本の間へ挾んであつたのが段々出た、そこで中山殿手にだも觸れませぬ 中「左様なむさい物は月番老中へ差戻すやう」そこで今大路民部少輔右の金子を持つて松平和泉守方へ持つて來た 今「此度將軍家より賜つたる書籍の中に、斯様なる穢らはしい物がござる、餘の公卿とは違ひ中山殿は斯様なむさき物は一切手に觸れませぬから御戻し申すゆへ、御改め御受取下さるやう」驚いたのは關東の役人、千兩と云ふ金は大した物、むさい、大概の御公卿ならむさい所ぢやない喜んで取つて置くそれを忽ちの間突返してれしまひなすつた是はどうも始末の惡い御公卿だ、賄賂は少しも受けず、どうも仕方がないそれぢやまアやる處までやらぬければならぬと云ふ、そこで第三度目の登城、中山正親町の兩卿御登城に相成りまする、前々の通り將軍始め諸役人の御列席に及びました時今日は中山大納言松平越中守が大議論をしやうと云ふ、關東名代の白河の越中殿、今日こそは容易ならぬ大問答があるに違ひないと皆一統の人々片唾を嚥んで控ゑました前日の通り席がピッタリ定まつた時に、越中守殿進み出でまして 越「扨御尋ね申上げます、大内御炎上の際吾等上京致し、勅許の上造營仕り候處、今回譜請取拂ひ、新たに大内裏御本譜請の儀實に困難仕りまするが、既に先帝一旦勅諚あらせられしを當御幼帝より御取拂ひとは其意を得ざる事にござる、此儀承りたうござる」中山殿が「如何に越中能う承れ、先づ大内裏の儀は去る慶長十九年大坂戰の砌、關東方數度敗軍に及び、其節德川父子秀頼と和睦の儀を京都へ申込み、大坂へ和睦の御勅使を下し給はらば、大内裏造營仕るべしとて其旨奏聞を遂げ、依つて勅使を下し和睦となり、然る處再び戰となり、元和元年大坂を平均なし、早速御本譜請あるべきに、亂世打續き漸く太平には相成ると雖も、亂世の後とて爲府困難の儀を申し立て御延引の儀を願ひ、それより當十一代將軍家まで御延引となる、然るに先年御炎上の砌、其許上京なし、又復假御譜請を致したるは是れ先祖の約を飜し、朝廷を輕蔑なすの致方ならずや。」

京城新報

曾禰統監の病狀
何が爲に隱蔽せんとするか

曾禰統監閣下の發病は閣下が統監の重任を負ふて歸來せられて間もなく米國總領事館に開かれたる招待會に伊藤公と共に臨席し未だ宴半ばならざるに病軀堪へ難しとて辭し去られたるときにあり、爾來幾十日今尚は快癒するに至らず、今や保護政治將さに第二期に入らんとし、百事多端の際に於て統監が病褥にありて政務を見る能はざるは甚だ悲むべきことゝす。

統監の病狀に就ては上は我　至尊に於ても痛く軫念在らせらる、下は五千万の國民之を憂ふ、殊に在韓の邦人及び一千万人の韓民は一層憂慮の念を抱き居れり、而して一樣に統監の速に本復快癒を祈らざるは無し、若し統監にして今日の如く病褥に呻吟せられて政務を見る能はざれば、保護政治は殆ど休止の姿にして從て半島の天地は暗黑たらむ。

然るに茲に最も不可思議なるは統監府が常に統監の病狀は日々輕快に赴きつゝありと傳ふ、されど事實は全く之に反するものゝ如し、世人が統監の病氣に就て憂ふる所のものは第一に其病源の明瞭ならざる事也、曾て各新聞紙が統監の病氣は腎臟炎なることを報道したりき、然るに菊地大韓醫院長の爲に取消されたりき、余輩は素より專門家にあらざるを以て統監の病氣が何であるかを推察することも亦斷ずることもなし能はざる也、依て種々苦心して探知し得たる結果統監の病氣は胃癌と腎臟炎の併發したるものなることを確め得たり、之と同時に腎臟炎に關聯して腦症をも起すものなることをも確め得たり、而して此腦症は特に子爵が父祖よりの遺傳なることをも確め得たる也、之に依りて余輩は一昨廿六日の本紙を以て統監病狀の概略を報道したり、之れ一は統監の病狀に就て悒憂しつゝある所の日韓の蒼生に其眞相を告知せんが爲なりき、然るに茲に最も奇怪千万なる風說に接したり、幵は本紙が統監病狀不良の眞相を發表したることに就て統監府一部の官憲が非常に狼狽し且激怒し居るとの事也、而も此風說の信ずべきは御用紙の記事を以て本紙の記事を抹消せんとするに徵して知る可也。

全体曾禰統監が發病以來幾十日を經過するに未だ病原の明にせられざることが一の不可思議也、加之統監府が强いて其病原を隱蔽し且其不良の經過をも隱蔽せんとするに努むことが抑も不可思議也、之に就て某官憲の語る所なりと云ふを聞くに今や曾禰統監の一身は日韓の關係に就き重大なる責任を有するを以て子爵にして病の重態なるを知らしむるは政治上に大なる不都合を來たす云々と、余輩を以て之を見れば之等官憲の云ふ所は無道理の甚だしきものたる也

今日の日韓關係は曾禰子爵一身の存在によりて繫がれ居るが如き薄弱なるものにあらず、不幸にして假りに子爵が病の爲に辭職するとも之に替るべき人は少しとせず、且つ何人が統監となるも日韓の關係に支障を與ふるが如きことなし、然るに何ぞや、其病原病狀迄も隱蔽して徒に世人に杞憂を抱かしむる必要なし、聞く過日李完用には統監病氣輕快なりとの表面の報道を信じて統監を訪問したるに面會を謝絶せられたり、之が爲に韓人間には相傳へて李完用は曾禰統監の信任を失ひたりと評判せらる、斯ることは一瑣事に過ぎずと雖も、徒に眞相を隱蔽するが爲に之に類したることは屢々起り來るべし、斯の如きは實に統監に近侍する所の官憲等が猥りに隱蔽主義を取りて一時を糊塗せんとするの弊なりとす、余輩をして率直に言はしめば若しも統監の病狀が佳良にして余輩の報道が誤れりとせば、宜しく主任醫は子爵の腹中に出來たる塊物其他に就て明細なる診斷書を發表して天下の惑を解く可き也、若し不幸にして余輩の報道を眞なりとせば一日も速く各症專門大家を東京より呼寄せて治療を加へ以て天下の人心を安んずべき也、然るに此等の手段は採らずして徒に新聞記事の抹消に努めて病狀の不良を世に知らしめざらんことに汲々たるが如き淺薄なる擧措を敢てするは決して統監其人に對しても忠實なる擧也と云ふ可らず余輩は彼等の心事を憐まざるを得ざる也

東京電報

▲韓銀の募株發表

韓國銀行二十七日募株發表する總資本一千萬圓十萬株とし內韓國政府三萬株理事監事四百株を引受け殘り六萬九千六百株を一般日韓人民より募集する筈にて申込期限は九月六日より十二日迄とし滿株次第締切るべく證據金は五圓なるが募入は按分比例とし一回拂込は廿五圓也

▲氣球研究と委員

軍用氣球研究會長長岡外史同委員田中館愛橘、中村精男、井口在屋の三博士以下十一名本日任命仰付られたり（同上）

▲對淸懸案の解決

安奉鐵道附屬地行政權を除き他の懸案は廿四日左の如く妥協成立したり（廿七日着）

一、間島は淸國の領土たるを承認する事
一、日本の同意なくして新民屯以北の鐵道を延長せざる事
一、撫順及烟臺の炭坑を日本に讓與し採掘料を支那に仕拂ふ事
一、奉天の日淸停車場を內城に移す事
一、大石橋、營口間の支線は日本の經營とし同線を居留地迄延長する事

雜報

●韓國民法と商法

韓國民法典は最新に編纂せらるべきものにして梅博士の抱負は世界最良の模範民法たらしむるにありとのことなるが特に注意すべき一事は韓國に於ては特に商法典を獨立の特別法となす必要を認めざるを以て多分民法典中に民事、商事共規定せらるべしと

●統監府の監獄官制

統監府の監獄は統監の管理に屬し韓國に於ける刑の執行に關する事務を掌る官衙にして監獄の設立及廢止は統監之れを定め控訴院檢事長は統監の命を承け其の管轄地內にある監獄を監督すべきものにて監獄には典獄九人（奏任）看守長八十人（判任）通譯生九人（判任）を置く筈なりと

●內閣法典調查局現況

內閣法典調查局にては目下民法典の完成を急ぎ梅博士監督の下に小田事務官主査となり事務官補十名をして各通譯を從へしめ南韓北韓の兩部に分ち各市區に派遣慣習の調查を爲さしめつゝあるが何分浩瀚なる法典を一時に編纂するとて只さへ容易ならざる事業なるに特に言語風俗の差異、調查上韓人の誤解等あり調查の困難一方ならず事務官補が調查をなす方法は各邑郡衙に管內洞長古老其他の重立ちたる官民を集め豫め梅博士より示されたる綿密なる問案に就て特種の慣行を問ひ試み通譯を介して十人十色の答辯を綜合して愼重に復命書を作り更に小田事務官に於て整理の上梅博士の手許に進達するの順序なり而して調查の結果は既に總則篇は全く調查を了し物權債權の調查も着々として進捗し親族、相續の部に渉りて事務官補の調查は豫定以上進捗せりと

東京電報

▲統監夫人の渡韓

曾禰統監病氣看護の爲め同夫人は一兩日中に渡韓の途に上る筈なり（二十七日前日韓電通社所報）

●韓政府の度量衡專賣

韓國政府が近々發布すべき改正度量衡法は屢報の如く現行日本法其儘にして其稱呼も全然日本の制度を採用せるものなれば施行の上は自他の利便少からざるべし而して之が施行規則は農商工部當局に於て調查中なるが其內容は臺灣制度を採用して專賣とするも唯だ臺灣と異なる點は製造の原價に運搬賃を加算せるのみにして韓政府は厘毛の利益を見ざる筈なれば內地の營業者が若し輸入を試むるあるも到底競爭に耐へざるべし以て統一の目的を庶幾するものなりと

●韓人司法官の任用例

韓國人にして統監府裁判所の判檢事に任用せらるゝ者の資格は日本の官立又は私立の大學若くは韓國の官立學校に於て三年以上法律學科を修め卒業證書を有する者が文官高等試驗委員の詮衡を經て判檢事に任用せられ得る由にて職務を執行するは民事に於て原被兩告とも韓國人たる場合刑事に於ては被告人韓國人たる場合に限らるゝ筈なり

●韓國民法典の完成期

韓國民法典調查の經過は別項に報ずる如くなるが同調查は本年中に全部之を了し調查報告書を來年一月初旬に梅博士迄進達し同博士に於て直ちに起草に着手六月末に脫稿の上民法編纂委員會に提出七月より委員會を開會して四十三年末迄に悉皆調查を終り發表の都合にて即ち四十三年中に完成せしむべき豫定なりといふ

●判檢事の官等と定員

法權實施後に於ける新設裁判所判檢事の官等は高等官一等乃至八等にして判事の定員は各裁判所を通じて四百四十九人とし檢事の定員は各檢事局を通じて百三十六人なるが司法廳の職員に補さる者は定員外なりと

●未墾地利用と度支部

度支部の所管に屬する驛屯土其他の地所は從來未墾地利用法にて處分することを禁じ居りたるが斯くては官民ともに不便の点多きを以て度支部にては今般農商工部と協議の上なるべく之が便宜を謀る筈にて從來禁止し居りたるものも許可するに內定したり

●韓國會計法の改正案

本年春以來度支部にて起草中なりし會計法の改正案は今般脫稿したるを以て近々閣議に上る筈なるが其の內容は日本會計法の長を採りたるものにて物品會計の如き最も綿密に規定しありと云ふ

●統監と司法官の補任

近く來るべき司法官任用の新法令にて高等法院長、高等法院檢事長、控訴院長及控訴院檢事長は統監上奏して之を補し其他の各職員は統監之れを補することゝなるべしと

●韓皇の即位紀念祝賀

昨二十七日は韓皇即位紀念日に付各大臣以下文武官昌德宮に參內署名問安す尙韓國側各官衙及銀行會社等業を休み祝意を表せり

●憲兵の仁川上陸　一昨日仁川に入港したる油頭丸にて木浦より乘船せる憲兵十四名同補助員八十四名は仁川に上陸し尾崎、菊屋の二旅館に分宿し昨日上京したりと

●參與官會議休會　昨二十七日は參與官會議の定例日なるも都合に依り休會したり

●民會の賀表捧呈　漢城府民會長兪吉濬は韓皇即位紀念を奉祝し昨朝參內賀表捧呈

●拓殖會社の休務　東洋拓殖會社は韓皇即位紀念日に對し祝意を表する爲昨日休社

●統監病狀の眞相
（日本電報通信所報）

曾禰統監の發病は伊藤公來韓の節韓國に催されたる新舊統監送迎宴中七月十二日外國領事團の開催せる招宴半ばに中座せるが始めにして爾來屢々輕快を傳へらるゝも藥餌は依然として其枕邊を離れざるものゝ如く然かも其病名に至りては主治醫を始め統監府員等嚴に口を緘みて何等物語る處なかりき之が爲めに在韓日本人は勿論東京邊の憂慮一方ならず其結果種々なる揣摩臆說流傳して屢次報道せらるゝ輕快說は全く信を措くものなきに至れり殊に過日盛んに流布せられたる韓內閣更迭說の如き其動機を穿鑿すれば李總理が城東の避暑地より歸京したる際統監邸を訪問せるに意外にも面會を拒絶せられたるを以て李は甚だ之を不審に思ひ既に病氣快癒を傳へらるゝに面會の謝絶を受くるは或は統監の意中窃かに內閣改造を畫き居る爲めならずやと例の韓人一流の猜疑心を起さしめ彼等をして非常の危懼心を抱かしめたる結果なりと知られたり、且つ東京にても平井軍醫監の渡韓問題より一部人士間には愁眉を顰むるもの亦尠からず旁々東京吾が本社は支局に命ずるに事實の眞相を精探し豫後の經過を探究して至急報道すべく促がし來れり玆に於て記者は常に統監に親侍する秘書官佐竹男爵を訪ひ更に最も信憑するに足るべき某々を叩き以て昨紙所報の如き結果を獲たり然る處該記事を見たる佐竹秘書官は頗る狼狽せるものゝ如く直ちに電話を記者に寄せて威喝を試み言辭酷だ不穩を極めたり其際同秘書官は口を極めて日韓の親善、日韓の國交を說き斯かる記事は尠からぬ妨害ありと唱へ恰も軍事上の一大機密を評かれたるものゝ如く思惟せるも記者は是に答ふるに未だ曾て斯かる論理を想到する能はず假りに曾禰子の病症不幸にして萬一の事ありとするも幵は唯だ山縣系統の消長如何に關する位なるべし蓋し吾が帝國の對韓方針は終始一貫何人も之を動かす能はざるべきを以てなり而して吾社昨紙所報の記事の如きは同秘書官の談話と反對の所說を掲げ信否は宜しく讀者の判斷に任せんと欲したるのみにして寧ろ通信本然の職責を盡くしたるのみに過ぎざればなり然るに强いて之を否認せんとすれば徒らに世人の疑念を深からしめ在留邦人の憂慮更に一層甚しく却つて藪蛇の誹を免れざるべし若し夫れ記者をして忌憚なく統監の容体を云はしむれば病名は胃ガン及腎臟炎にして之を曾禰子亡父兄の死因と對照し遺傳性の腦症を誘致するなきかを恐れ豫後洵に憂ふべしと斷言するの外なき而巳素より斯く斷言するには有力なる筋より是を探知し充分確信するに足るべき理由を有すればなり

●韓國鐵道收入比較表

昨年及び本年に於て既往四ヶ月間の鐵道收入の比較左の如し

昨年四月	三十七万五千百十八圓
同　五月	三十七萬千九百七十五圓
同　六月	三十三萬〇百九十二圓
同　七月	二十九万六千百〇一圓
本年四月	三十五萬六千八百三十五圓
同　五月	三十七萬八千百六十九圓
同　六月	三十二萬三千二百九十九圓
同　七月	三十一萬二千三百七十二圓

右の如く本年は昨年に比し四月及六月に於て增加し五七兩月は減退せり減退に於ては無論一般不景氣の影響は云ふまでもなく增加に於ては軍隊の輸送及び多少の荷動ありしによるべしと

●現回收白銅貨は僞造

韓國政府が白銅貨を發行せる額は約一千八百万元なるが既に回收額は六月末日の調查によれば一千八百七十六萬三千九百五十二元に達したり然れば其過剩額は即ち僞造貨にして之を今後回收額と加算すれば韓政府の白銅貨回收の爲めに釀出する損失は頗る莫大のものなるべしといへり

●第一銀行支店不動產

在韓國第一銀行が韓國銀行成立の後同行へ引繼ぐべき不動產價格は約百萬圓なる由なるも最後の決定は兩者委員立會の上實地の調查を遂け算定さる筈なれば一銀現計の價格には多少の異動を爲すべしと云ふ

●大屋鐵道廳長官東上

大屋鐵道廳長官は新田技師小林書記を隨へ二十八日朝東上さるゝ筈なり其主なる用向は京元鐵道豫算其他附帶の爲めなりといふ

●西島中將の急遽歸朝

過日陸軍大臣の電命により急遽歸韓したる西島第六師團長は又々同大臣の電命に接し昨朝出發急行東上せり

●香阪法務院長の歸任

香阪法務院長は司法事務視察の爲め馬山大邱へ出張中の處昨二十七日歸任せられたり

●岩井警視の退院　久しく大韓醫院に入院中なりし保安課長岩井敬太郎氏は病氣全癒したるを以て廿六日退院したるが氏は不日豫後靜養の爲め日本へ渡航すべしと

●會計檢查官招宴　在韓國諸官衙會計檢查の爲め滯京中なる中股會計檢查院部長一行を昨夜六時三十分より統監府、通信管理局、鐵道廳の關係吏員は京城ホテルに招待晚餐を供したり出席者は被檢查高等官以下二十餘名なりし由

●淸國領事の往訪　淸國總領事馬廷亮氏は陳通譯官を伴ひ統監府に小松外事總長代理を訪ひ何事か密談する處ありたり

●仁川府尹園遊會　仁川府尹は昨日は韓皇即位紀念日に相當せるを以て午後六時より萬石洞八景園に於て祝賀園遊會を催せり

●淸國大官の來韓　淸國直隷總督端方氏の舍弟端錦氏は今廿八日山東丸にて來韓すべし

●原口博士の來韓　原口工學博士は大連より山東丸にて今二十八日來韓の筈なりと

●西村書記の歸任　法務院書記西村茂夫氏は香阪院長に從ひ出張中の處昨日歸任

公人私人

▲兼重次郎（平壤裁判所檢事）二十六日入京
▲大友歌次（馬山區裁判所判事）同
▲下田文忠（鐵道院技師）同
▲熊勢辰五郎（大邱理事官）同
▲岩井尊文（東京帝大教授）廿六日新義州へ

近事片々

▲曾禰　統監の病狀に就て輕快不良の兩說あり然るに子爵夫人急遽東京出發渡韓すと
▲夫人　の急遽出發は何の爲ぞ子爵が病氣が追々輕快に赴く爲に非ざるは明なる事實
▲東電　にも看護の爲め云々ある秘密主義は唯一時を糊塗するのみ隱蔽策の心事は陋
▲病狀　の如きは明瞭にするが人心を安んずるもの也隱蔽は却て疑惑を挑發する者也
▲亦た　しても宇佐川東拓は必にもなき說託を吐く東京に於ける移民談は乃ち之れ也
▲曰く　永久的移住者を迎へ一時的移住者は迎へず云々と何處迄戲言を弄するものか
▲永久　にも一時にも未だ移民を迎ふる準備だになし前途逆も中々に其準備は整ふまじ
▲現狀　を以てすれば移民を迎ふるまでには幾歲月を要さむ今世紀には些と險呑ならむ
▲淸國　にては慶親王安奉線問題に就て責を引て辭表を呈したりと此人退職するが可
▲此人　由來腐敗淸國の達人而も定見とて更になし速に樂隱居するが淸帝國の爲也
▲日本　の政策强しき爲に戰後淸國の心を失ふと英紙は評す小村外相顏色ありや否や
▲小村　は舊式の外交家秘密々々を專一とし却て外紙に素破拔かる日本外交萎縮當然
▲ポーツマス　に於てウ伯に敗を取りたるも此秘密主義の監守に由る今に反省をせず
▲輿論　を後援とせざる外交には眞の强味なし小村の失敗を積くる豈所以なしとせず
▲新聞　を敵にして外交に勝を制せんとするは難し新聞は多くの場合に於て輿論の鏡
▲統監　府邊でも屢々此小村式によりて失敗を招きしに非ずや今尙覺醒する所なきか
▲獨逸　商人の淸國に於ける活動は眞に恐るべきもの有南淸に北淸に銳意事業を企つ
▲歐洲　の猶太人と惡口するも勤儉力行は終に最後の勝利を制さむ我邦人學んで可也
▲姉崎　博士比較神話講座を設けんと濱尾總長に議す總長日本神話か外國のかと問ふ
▲太陽　に暴風起り波動地球に及ばさば地球は大地震なりと天文學者は語る穴恐ろし

●滿韓鐵道旅客連絡

後に於ては滿韓兩國より西比利亞線による旅客は非常の便利を得ることゝなるべし

更に同港附近に於て埋立工事を爲すべく韓政府より五万圓を支出したるを以て別項記

韓國現今の金融界は一般に於ける事業不振の影響を受け益々衰退の趨勢を呈し居れり

共金融閑散なる割合に警戒を爲しつゝあり

●吉松書記官　北韓に出張を命ぜら

●天氣豫報（自廿七日午後六時至廿八日午後六時）
南西の風晴れ

者の協議[illegible]遅くとも來月末頃には[illegible]發表同時取扱ふことゝなる由なるが愈取扱[illegible]漑港の經營は韓國政府の依賴によりて[illegible]準理事官の手に於て爲されつゝあるが今般[illegible]したるものなりと云へり

◎韓國現下の金融緩漫

[illegible]況を來すべく推知せられ之が爲めに各銀行[illegible]逓局長の一行と落合ひ[illegible]にて出發の筈[illegible]行列車に搭じ釜山に於[illegible]

▲相談の相談▼
(何んでも御相談に應じ升)

◎問 小生は當地より「シヤム」へ渡航致し度候へ共旅行券の必要有之候哉又旅行券必要の場合は[illegible]手續を要し候や[illegible]如何の手續[illegible]したれば渡航し得る哉[illegible]に付御相談願入候(良生)

◎答 旅行券の必要あり、戸主なれば市町、村長の證明(奥書、證印)を得之れに戸籍謄本を添へ更に旅行先、旅行の目的等を明記したる願書を提出せらるべし[illegible]貴下の旅行が父母の意に背き若くは[illegible]市、町、村長に於て奥書せざれば[illegible]あらず然れば都合及事情に依り御回答申さざることなきを保せず、但し及ぶ限りは[illegible]出來得る限りは御問合せ[illegible]強ちに拒絶は致し不申候御注意まで(係)

◎問 廿六女君

[illegible]配偶者ある[illegible]廿六歳の婦人良家の仲働き若くは針女として雇はれたしと一家の[illegible]同情に堪へず給料九圓を望まる[illegible]

◎答 [illegible]

●看護婦の姦通騷
院に夫は藥局生妻は看護婦
▲代診藥局の妻を姦す

廣島縣[illegible]郡[illegible]村[illegible]は當地御成町百八十一番戸戸田醫院[illegible]

住居して同院の代診として通勤し居る出雲生れの飯島岩身(三)と云ふが[illegible]

双方の熟度

[illegible]ユクノの容姿の一寸踏める處あるに目尾を附け折を見合し眼尻を下げて小當りに當つて見ると[illegible]より產むが安いでドウやら[illegible]るにぞ斯くと見て取つた[illegible]べき時に非ずと短刀直入[illegible]奏し其後と云ふ者は代診[illegible]飛んだ藥局生の代理を務[illegible]目を憚じて遠慮もしたが[illegible]は日毎に昇り遂には人[illegible]戯散らした揚句本夫の前[illegible]や思ひけん何時しかユ[illegible]したるにぞ本夫の甲斐は[illegible]つて捜す内去る廿五日の[illegible]クノが闇にまぎれて飯島[illegible]首尾能く取押へ茲に一場[illegible]將に一大事にも及ばんと[illegible]病院の會計を務め居[illegible]が駆け附けて仲裁をなし[illegible]移りしが此の事に付早くも前記釜山なる岩[illegible]根より取押へ方當地警察署へ願出しかば南部署の長野刑事は右の事實を探知し楢崎方にて取押へらる

●娼妓に迷ふて持逃げ

廣島縣安部郡[illegible]村[illegible]番地平民石川善次郎(三)は是迄釜山西町三丁目石川病院の藥局生たりしが三年前下關市の某藥舗に奉公中同地の遊廓で[illegible]

[illegible]遂に止め[illegible]が[illegible]から主家の掛先金二十圓は出京すべしと打電し置が此の電報を手にしたる南大門驛に之を迎へんと殘念にも既に釜山よりの歸りしが之より鎧善次郎や八より先きに下車して迎ふる人の影だに見ざれ記の次第なれば之も又大へて待詫びつらんとイソ南大門通りの京城旅館へ町三丁目松尾岩吉と僞金樓なし玉子を揚げ茲に久たを極め込み夏の夜の短ら翌朝京城館へ歸りしが誠の末宿屋に居ては都合惡を騙つて男の後を追ひ京城館を引揚げ玉子の知六十六番戸楢崎周造方へ引て事濟みたり

●叔母を強姦す

西部盤松坊治洞居住の高永植(三十)は昨年五月以來京畿道砥平郡地方にて暴徒の群に入り居りし者なるが近頃歸順して當地に歸り來り同人の叔父に當る治洞居住の李鎭鉉方を訪ひたるに同人は外出中にて其妻即ち高の爲めには義の叔母に當る李召史(四十)が留守居せるより金五十圓を借り受け立ち歸らんとせしに一寸妙な心を起し叔母を押倒し強姦せしが李召史は之を表沙汰にせむは互の耻なりと口惜しながらも秘密に付し夫へも話さゞりしが高永植は之をよき事にし其の後も度々來り前同樣獸慾を遂げて立去るにぞ李召史は遂

大岡さん妾墮落しても構ひませんわ

●兵兒帶を飲む

仁川宮町二丁目居住佐久間扇次と云ふは一昨日午後十時同町飲食店大井ハツ方に登樓酒肴を命じ鱈腹呑だ揚句の果て金は一文も持ち居らぬとて勘定をなさゞるより警官の出張を煩はしたるが結局飲食代を支拂ふまで兵兒帶一筋を預け措くことゝなして事濟む

に忍び兼ね此の旨其の筋へ訴へ出しかば去る二十五日西部警察署の手に捕へらる

●此奴は洋傘を飲

仁川寺町二丁目靜亭事土屋千代方に昨朝一時頃一人の男入り來り横柄にも酒を飲ませと命じ三時過ぎまで飲酒したる揚句懐中無一文にて勘定の出來ざるのみか酌婦を捕ねて暴行を加わんとしたれば之れ亦警官の出張を乞ひたるが漸やく所持の洋傘を抵當に置くことゝなり

●科料一束

長谷川町二丁目四番戸熊本縣平民飲食店淵まさ(三〇)は去る二十六日同人居宅前の街路に腰掛け臺を置き通行を妨げたる廉にて科料三十錢に▲本町七丁目三〇番戸氷營業者島根縣平民渡邊茂(三七)は道路にて褐袒せし廉にて科料二十錢に▲長谷川町二丁目四番戸大坂府平民飲食店吉住せい(五八)は雇女を紛裝店頭に客を引かしめし廉にて科料五十錢に▲同人は熊本縣生れ鬭まさを雇入れ期日内に屆け出でざる廉にて科料一圓に▲本町二丁目六番戸飲食店野村梅次郎は雇女を粉裝徘徊せしめし廉にて科料五十錢に處すべき旨各申渡されたり

●行倒れ男の救助

岡山縣麻島郡生れ石原義三郎(三六)は再昨二十六日午前十時頃當地獨立門通り盤石洞の路上に倒れ居るを巡廻中の巡査が之を認めて行旅病者として收容せられたり

●完全なる印刷機械

從來大坂市東區内本町谷町東入橋本鐵工所にて印刷機械各種取揃販賣せし處今回大擴張各地需用者の便を計り新式完全の機械を廉價に販賣せり斯業者には大に利益なりと

小宮兩大人に寄す

貴社貴婦人の墮落を讀み待べりて大岡どこやらに媚んとすれば梅●女●
自ら延壽太夫の箱も持つらん

●大相撲の二日目

▲割れるが如き好景氣

大阪大相撲は愈々昨日より旭町民團役所裏空地に於て開場したるが大阪大火義捐と云ふ目的なれば景氣一層好く大入滿場の好況を呈したり尚明二日目重なる取組左の如し

取		組	取		組
小染川、	、	佐の川、	釉の浦		鳳
熊ケ谷、	、	源氏山	響矢	○	澤の鶴
松の音、	●	鳴戸岩	改心	○	西昇
陣幕	●	玉の森	扇海	、	鶴ケ濱
大林、	、	大木戸	岩友	、	加古川

演藝

●●●●歌舞伎座 彰義隊一座本日の替り狂言は『雲間の明月』にして重なる配役は左の如し

夫人定子(西井)女房れいち(桂木)令孃露子(河野)濱田良齊(角村)藝妓小吉(中村)書生山田(大和)松山種臣(松村)紳士井關(小谷)同岩沼(有村)家令岡澤(北村)洋人グレープ(美崎)屑屋權平(篠崎)山崎清(愛澤)金太(高島)

吉凶鏡

本町五丁目 三一館判斷

△八月廿八日 一白舊七月十三日先勝庚申●一白●心身を清淨に保維して過誤たつ△二黒●●酒害女色を愼しむべし△三碧●●陰鬱なる日なり新事斷念すべし學事、慈善の行爲は妨げなし△四緑●●顯進康寧を意味する日なり万進んで吉殊に建築土木の事業に付きては大に吉△四緑●● 有望の日なり子孫の計を濟るには大に吉只舊常

◀平民文庫▶

▲西小門通りの東京亭は沒落して其の跡へ越中屋と云ふのが招牌を掲げた僕は越中から出るものは反魂丹に紡績の糸とりに米搗位ひだと思つて居たが此の頭は引つぱりも輸出様になつた世の中の進歩と云ふものは恐ろしいもんやの(七尾男)▲夏の雨はトタン葺の下に聽くこう一層の豪壯を覺ゆるなり秋の雨は講談場にて、冬の雨は蛤鍋でもよし、湯豆腐でもよし但し酒は少々熱燗を望むと知るべし春の雨は三下つてもよし二上つてもよし(紅)▲働きともながる遊ぶこさ計り考へて居る方と見へる(小僧)▲長谷川町に朝鮮日日あり西小門通りに京新、大日ありアンア淫賣屋稼業は行り切れない(一亭主)▲其の爲ばかりぢやあんめね(小僧)▲明烏や夕霧を惡く云ふ記者さんの氣が知れない粹で小粹で聽いて居ても嬉しい様な文句が澤山ある野暮な人には困るはね、ご南山湯で藝妓の様な丸髷姿の奥様連が小さな聲で話して居たが僕の噂アが湯から戻つて隣りの妻君に話して居たのを聞いた(南一子)▲大和町一丁目の通信管理局官舍に居る橋川とか云ふ奴は昨日或る處で身分も考へず堂々たる高等官を捉へて彼は出來るとか出來ないとか恰も自分の配下を評するが如く吐して居たが貴樣等は高等官等の批評をするガラではないではないか誰か聞くのか知ないいけれど貴樣が兄の爲めにもなるまいぞ(尾行者)▲日韓書房の前の菓子屋さん少し衞生に注意して下さい私は先達つて來客に此れを供して非常に耻を曝した此れが自分より上の人でなかつたから仕合せ兎に角注意して呉れぬと困る蠅の蛆なぞ取り付けぬ樣にね—(旭町生)▲雨が續いたので傘の事を投書します、蛇の目傘の紺なのは不意氣だが奥樣旦那樣向き紺青なのは藝人衆溢蛇の目は俠乘向き女の夫れは恐らしい大字に屋號を示したる番傘は藝人衆の男衆や料理屋の板場さん生きた魚を賣る其の肴屋さん達が豁して居れば意氣なもの也(巴)▲何種でもよろしいが獵犬をれ讓り下さる方ありませんか但し小犬でも結構(朝日新聞支局山本)

●●●●●

廣告

右は概括的判斷なり各人格別に付ては直接同館の鑑定を請はる可し

に逸したる諸勝負事射倖的投機的行爲を戒しむ△五黄●●言論の間違より紛擾を惹起し易し且腸胃を害するなかれ△六白●●本末前後を轉倒して誤謬を來し易し其外吉△七赤●●企謀、貸借、復雜なる談判談合等慎ゆべし其外支障なし平穏の日とす△八白●●絕離間を戒しむ殊に閨門の禮義を紊すなかれ悔あり△九紫●●家庭内に紛爭起り易し慎しむべし貸借、取引に注意すべし

秘密病根治の妙法
(最も安全にて信賴すべき自宅療治)

世人は梅毒痳病の害毒に恐を懐き其原の傳染を受るものにて學者の調べに依れば現に醫の監督下に在る娼婦が若し檢梅を怠る時は一人にて一週間に百人以上の人に傳染せしむる事容易なりと云ふ然に娼婦は國法に依り檢梅を受る故割合に危險少く却て實際檢梅を受ざる人殊に嫖客に有毒者多數なるは專門醫の慨嘆する處現今世上に流行の甚しき事が之で判る又人種の差に因り異人種より受る梅毒は劇症を起すと痳病は亡國病と云ふ程の難病でない初期の間に完全の治療すれば必ず根治する事は治療學上の證明する所で其本人が油斷して適當の手當を怠り或は不完全の藥劑に信賴する結果漸次深身に陷いるものなれば實際痳病の罪でなく本人の罪が多い痳病の病状は左程の痛みなしで膿出で又は苦痛甚しく膿を漏し屢々洗滌するも尚衣服を汚染し或は出血の爲に尿が血色に染り尿意頻促となり其頻に堪す之に於て煩悶、恐怖、憂鬱等の念交禁じ難く鬼の目にも涙の出る位である此場合に痳病の治療藥を用て一旦治するも程なく毛髮脱落し咽喉痛み聲言嘶嗄し心得常に鬱憂し顔色惡く働かずとも身體倦怠し手足力なく讀み書き又は作業手に附す頭痛あり腦病の如く記憶力減じ或は眼かすみて充分見ゑぬ事ある等の病状が顯はれて來るのは梅毒の爲めであるが痳病の後に多く隨伴する所以は梅毒痳病の混合傳染である故に痳病の專門藥は其場限りの効能で跡の大害に何の手當にも成らぬ凡そ人の活體は病毒の頑固なるも一通でない實に素人藥や書籍の通りや獵理一偏で行くものでない其不完全の藥劑にて療治の目的を誤る理由は玆に在る事が判る左れば梅毒痳病に臨床醫學の見地より深く實地に鑑み親切に考量したる藥劑でなくては斷じて眞正に根治する事が不可能である凡ろ梅毒痳病を根本的に療治するには必ず唯一丸を用ゆべし唯一丸は彼梅毒の病源体を發見して有名なる獨逸の大家ホフマン博士の處方に則り其の主藥(原料)は現世に於ける唯一の驅毒藥として醫學者に最とも尊重せらるゝ藥劑なれば梅毒には身体内に蓄積する病毒の作用を中和し不純の成分を血液及組織内より驅除する

の特効あり痳病に内服せば化學的作用にて必ず痳毒の死滅すべき精分となりて共に排泄するもの故自然の洗滌法となりて痳毒を根治する事明かなり依て其病輕きは一二週間より重くも一ケ月程にて如く根治す故に多毒質の人は速に唯一丸を試よ面白き程効力あるべし藥價●三日分四十錢●七日分八十錢日分一圓五十錢●三十日分三圓(内國遞送無料)

●本病患者の爲め其病理發生及び治療法を親切に詳述したる冊子無代施本送料

發行所 東京市本郷湯島天神表門中坂上 藥劑師 中西莊吉 電話下谷五百四十番 振替貯金口座千五百番

●配達出拂 午後七時

代理店
京城南大門通三丁目 新井藥房本店 電話九一 同 一〇六番
京城本町三丁目 新井藥房第一分店 電話四七〇番
京城南大門外 新井藥房第二分店

旣設未設 電話至急讓受たし
長谷川町二丁目 日韓興信所 (電話九七九)

▲清潔の下宿▼
客室の清潔ご調理の美味と扱の懇切こを特色こして下宿營業仕候間賑々敷御投宿の程御願申上候
壽町二丁目十番戸横小路(元花屋跡)
▲懇切の下宿▼ かめ屋

自轉車大安賣
角商會代理 前川自轉車店 京城南大門

◉學員大募集廣告
特許新發明三効式測量法教授(發明者自ラ教授)
米國シビルエンヂニアー ドクトルフヒロソフヒ 土木工師 山崎園藏
●壹ケ月卒業●卒業ノ上ハ免狀ヲ授與ス
本校優等卒業生ハ諸官衙ニ就職ノ途ヲ與フ(詳細ハ本校ニ來談スベシ)
京城黃金町農商工部側通 私立 山崎土木建築實修學校

實用新式機械
活版印刷機械專門製造販賣
最新式特製印刷機械

鑑よ印刷業者諸氏よ、作業之良否は機械にあり、選擇を誤れば如何に手腕家も忽ち解の悲運に遭遇す最新式特製印刷機械は所主自ら多年研鑽を積み弊工場專門製造の結果漸く完全を告げたる獨特の良機なれば運轉輕快にして堅牢、尤も用に堪へ要部緻密正確にして仕上敏速なる等聊か誇りとする處、今回販路擴張之為用諸氏の御便宜を計る爲め各種取揃へ特別價にて販賣仕候機械は勿論所主一々調査の非らざれば決して發賣不仕候間此段御懸念御注文あらん事を乞ふ定價表及說明書は御次第直に送呈可仕候

製造發賣元 大坂市東區内本町谷町東へ入 橋本鐵工所販賣部

EDP
品質精良且廉價にして御進物に最も適當なる高尚優美の土耳古煙草

飯島岩身

金口莨及葉卷
各種(百本入七十五錢以上)大安賣 御來店御試み給へ見本無代
卸 本町二丁目 直輸入商 日希商會

各種洗濯石鹸 專門製造販賣
用途一 陸軍、鐵道、船舶、鑛山、水道、湯屋、散髮、諸工業用
京城旭町二丁目 (電話九七三番)
朝日石鹸製造所

▲無料紹介欄▼

人事部

●英文代書 通譯歷閱 本町一の七五中村

●求職業 醫學專門學校二年迄修業せし者醫師病院其他適當の職業を求む市内確實なる保證人あり 氏名在社(四二四)

●望仲働 配偶者ある二十六の女淸淨なる家庭の仲働又は針女に雇はれたし但給料八九圓を望む 氏名在社(四二五)

●被雇度 普通教育ある二十八の男一定相當の職業を授けらるゝ仁人君子に遭逢したし但會計事務簿記方などに雇らるれば尤妙 氏名在社(四二六)

物件部

●賣地 南大門より停車場に至る右側表通六十坪の賣地あり 氏名在社(四二〇)

●貸家 若草町一にて温突二間續一間疊敷二間押込炊事場玄關付にて井戸の設備あり家賃十二圓 若草町一の一二九矢島(四一九)

●本町七丁目通にて飲食店造作付のまゝ至急格安に讓渡したし 姓名在社(四二三)

●求宅地 官吏むき家屋建築に付き格安の宅地二三十坪買入たし 京城旭町一丁目五十三ノ四 安藤

廣告

銘酒 雪乃松 盛乃花
釀造元 仁川港 大森酒場
韓國一手發賣元 (NA) 永島商行
京城日の出町一丁目 (電話架設中)

入院隨意
內科 外科 小兒病 梅毒淋病
高井醫院
京城壽町三丁目 電話(二一六)
院長 陸軍軍醫正 高井貞治

商業會議所前ヨリ東へ突當リ右ノ上ル丁半左側
土地高燥清涼
高等御下宿 國分旅館 壽町二丁目

特定御用 消毒 純良
牛乳
荒井牧場 電話一〇五六

綿わた ワタ
わたやすくうります
ふとん地色々、ふとん調進、太物類、洋反物類
御問屋 唐川商店
京城明治町一丁目四ツ角 電話二六一番

明治廿年七月創立
東京火災海上運送保險株式會社
資本金一千萬圓
京城代辨店 本町四山口呉服店 電話九番
事務所 京城本町二の三 電話一〇六〇番

荒物世帶道具一切
大坂合製白絞油和洋蠟燭
和傘岐阜提灯魚釣道具
卸小賣
地方在住の各位には御申越あり次第代金引替證付又は代金引替小包郵便を以て御送付申上候尚弊店營業品目錄御入用の御方は御通知あり次第送呈申上候
荒物世帶道具 各國諸油米穀 銘酒澤龜 アサヒ サッポロ麥酒 並に買次業
京城本町六丁目
(合西) 西崎嘉七本店
電話長二一〇 電話(二ヵ又は二)
振替貯金口座東京(九四一七番)

高麗史
第二回特價發賣
全三冊 總クロース大判金文字入 紙數二千數百頁
全部既製發賣
定價金九圓 郵稅金四十五錢
特價七圓五十錢 郵稅四十五錢 前金一時拂に限り
●申込期限九月十日限 期限後は斷然定價に復す

高麗史は世人夙に知る如く韓國有名の歷史にして今世に於て同書の價値は幾百圓を投ずるも手にする不能全く絕版の姿にして韓半島を研究せんとするものゝ尤も遺憾とする所なりしが今回東京國書刊行會に於て非賣品のものを特に二百部限り增刊致させ右部數を限り弊房に於て豫約發賣仕り候に付賣り切れざる內速に御講求相成度候此の書の如き珍書を廉價にて手にするは實に千載の一隅又なき好機會此の機を逸せず直に申込あれ

豫約發賣所 京城本町二丁目 振替口座(九〇五九) 日韓書房
龍山申込所 龍山新市街 龍山堂

鴨綠江製材
北海道松材
各種板類一切 及小割類種々
右今回弊店に於て販賣開始仕候間續々御用命被仰付度充分大勉强御高需に可應候
京城本町五丁目
煙上支店 山本村太郎 電話三七〇番

元祖 消毒 殺菌
牛乳
京城大和町壹丁目
平山牧場 電話一三三

時節柄敷物及夜具等新調仕り室內の設備も相整申候御客様に對しては叮嚀親切を旨とし調理の義は從來よりも一層勉强可仕候間倍舊の御引立奉願候
京城南山町四丁目
原金旅館 (電話長七〇一番)

中元大賣出し

品目
和洋酒、ビール、シャンピンサイダー、炭酸水素麵、最上鰹節、特撰奈良漬種々、赤白砂糖、宇治銘茶種々、鑵詰、乾物、其他食料雜貨種々

醬油特約一手販賣
本町五丁目
大上商店
電話二五一

各種とも御進物用にして至極優美にしつらゑ候
便利商品切手も調製仕候間多少に不拘御注文の程奉希上候
尚御注文次第遠近を問はず迅速持參可致候

日韓印刷株式會社
營業科目
活版、石版、銅版 各種印刷 帳簿裝釘、書籍製本及ビ印刷 諸材料販賣
遍ク諸材料ノ精撰ヲ計リ期日ノ正確ヲ旨トシ最モ敏活ニ最モ低廉ニ御高需ニ應ジ候間多少ニ不係御注文ノ程希上候
本社 京城明治町三丁目 電話三二三番
出張所 東京麹町區麹町八丁目十九番地 電話番町二九〇番

移轉御披露
京城本町三丁目十六番戶(三日月派下隣)
東京生そば
東京庵 電話九五五番

新荷着中元賣出し
東京
來る三十一日まで
五百足限 一圓均一 一圓十五錢

利益なし元價の
一張二十五錢
京城大和町一丁目日の出橋際
本店東京
藤井出張店
電話二〇五番

JAPAN BREWERY COMPANY LIMITED
LAGER-BEER
KIRIN
TO BE KEPT IN A DARK COOL PLACE

男女生徒募集
簿記學速成教授 規則書郵券二錢
但一人每に教授す何時入學するも差支なし
新式家計簿記學教科書 全 代五十錢
京城壽町二の三七統監邸下
京城簿記學校

卸 小賣
富士の里茶舖
京城本町五丁目 電話九七九番

待合
永樂町二丁目
嬉野

⦿牛乳 純良 消毒 檢查濟
韓國畜産株式會社
南大門外(電話八八番)

日本郵船株式會社
仁川 瀛船出帆廣告 電話十番
貨物及船客取扱店
仁川海岸通 電話三九番
郡回漕店

●釜山長崎門司神戸行 山東丸 八月二十九日午後三時出
●大連、太沽、牛莊行 高砂丸 九月九日正午時出
●大連、太沽、牛莊行 山東丸 九月 日午前四時出
●大連、太沽、牛莊行 酒田丸 八月 日
●釜山出帆、元山、淸津、浦鹽行 立神丸 九月 日午後出

御注意 御乘船ノ際ハ税關波止場ヨリ本船迄送迎船ニテ御送リ可申候送迎船ハ本船出帆ノ約五十分前ニ解纜ノ事

●新聞料 ▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵稅一ヶ月金拾錢
●廣告料 ▲五號活字十九字詰一行一回五十錢▲特別▲四號活字十九字詰一行金六十錢
發行兼編輯人 高木久馬太
印刷人 大神久一郎
發行所 京城新報社 電話六六三番